りっとう議会だより

大きな栗の木の下で

No.220
2026.11.1 発行



特　集　夏休み親子議会見学ツアー …… P 2
議　案　9月定例会 …… P 4
委　員　会　各常任委員会ピックアップ …… P 6
特別委員会　決算特別委員会 …… P 8
個人質問　ここが聴きたい　市政を問う …… P 9

ともだちと　いっしょにえがお　たのしいな　（人権啓発作品集　標語入選作品）



見て・聞いて・体験して
知ることがいっぱい!

議会って、こんなところ!



夏休み親子議会見学ツアー

今年も、夏休み恒例の「親子議会見学ツアー」を開催しました。
小学生の皆さんと保護者の方が参加し、
普段は入ることができない議場や委員会室を見学したり、
議員と話したりして、議会の仕事を体験しました。
ツアーの様子と、議会のしくみをわかりやすく紹介します。









クイズ

Q 議長って、どうやって決まる?

A　くじで決める
B　市長が決める
C　議員の中から議員が選ぶ



答えは左ページの下に!



参加した皆さんの声

子どもにもわかりやすい説明で、勉強になりました。(保護者)

部屋が多くてビックリした。

みんなやさしく、話しやすかったです。

子どもだけでなく、大人のツアーがあるといい!(保護者)



見学ツアーの報告はこちらから▶

当日の様子を、写真や子どもたちの感想とともにご覧いただけます。
ぜひご覧ください。

▲市ホームページ(報告書)

▲栗東かわら版(ケーブルテレビ)

動画でもご覧いただけます!

議長席から見ると、議場はこんな景色!



議員って、ずっと議場にいるの?

いいえ! 実は、こんなにたくさんの会議があります。

議員の仕事は、本会議だけではありません。
テーマごとに分かれた委員会や、議会の運営に関する会議など、いろいろな場所で話し合いを行っています。
同じ日でも、いくつもの会議が開かれることもあります。



本会議



市の大切なことを決める会議です。市長からの提案(議案)について、議員が質問や意見を行います。

常任委員会



分野ごとに詳しく調査・審査を行います。
(予算・総務・環境建設・文教福祉)

特別委員会



特定のテーマについて集中的に話し合います。
(決算・議会改革・議会だよりの編集　など)

議会運営委員会



議会を円滑に進めるためのルールや日程などを協議します。

定例全員協議会など



市の課題について情報共有や意見交換を行います。

議場システムを改修予定です

今年度、議場システムの改修を予定しています。
本会議のライブ配信や電子採決などに対応できるよう、環境整備を進めています。
これにより、より多くの方に議会の様子を見ていただけるようになり、わかりやすく、身近な議会を目指します。

より開かれた議会へ

- 本会議のライブ配信(インターネット中継)に対応予定
- 電子採決スイッチを使った採決に対応予定

クイズの答え　C　議員の中から議員が選ぶ

議長は、議員の中から選挙で選ばれます。
議会を代表し、本会議の進行や議会の運営などを行う、重要な役割を担っています。

特集担当:塩見・谷口

9月定例会

審議した議案・請願書など

	件　名	採決結果
人事	**栗東市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて**（饗庭敏夫 氏）	同意・全
	栗東市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて（平井建志 氏）	同意・全
	栗東市公平委員会委員の選任につき議会の同意を求めることについて（川那邊清美 氏）	同意・全
	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて（金城ゆみ子 氏）	適任・全
	栗東市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて（久保和之 氏）	同意・全
条例（一部改正）	**栗東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について**（満3歳以上限定小規模保育事業の新設等の改正）	可決・全
	栗東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び栗東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について（満3歳以上限定小規模保育事業の新設、児童対象性暴力等の防止等の措置の新設及びみなし保育士の要件拡大等の改正）	可決・全
	栗東市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（児童対象性暴力等の防止に関する規定を追加するための改正）	可決・全
	栗東市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について（地方自治法施行規則の一部を改正する省令が公布されたことに伴う改正）	可決・全
	栗東市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について（18歳以下の子がある者についても優先的に選考し、入居させることができるようにするための改正）	可決・全
	栗東市屋外体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について（屋外体育施設である栗東市弓道場について、老朽化及び利用者の減少により施設を廃止するための改正）	可決・全
その他	**契約の締結につき議会の議決を求めることについて**（栗東市保育園・こども園自園給食調理等委託業務契約のため）	可決・全
	契約の締結につき議会の議決を求めることについて（葉山小学校長寿命化改良等工事（建築工事）契約のため）	可決・全
	財産の取得につき議会の議決を求めることについて（栗東ホースパーク整備事業用地取得のため）	可決・全
	栗東市道路線の認定について（下鈎小松北下2号線、小柿一区内21号線）	可決・全
	指定管理者の指定について（栗東市立学童保育所）	可決・全
意見書	**非核三原則の堅持を求める意見書**	可決・別表
	核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	可決・別表
	公的年金額の改定に伴う課税化と社会保障負担の急増の解消を求める意見書	可決・全

令和7年度　一般会計・特別会計　決算

会計名	決算額	採決結果
一般会計	315億2,468万3,780円	認定・別表
土地取得特別会計	1億1,982万8,013円	認定・全
国民健康保険特別会計	53億7,731万5,158円	認定・別表
後期高齢者医療特別会計	9億8,445万7,038円	認定・別表
介護保険特別会計	44億7,060万7,674円	認定・別表
栗東墓地公園特別会計	420万371円	認定・全
大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計	3,369万7,400円	認定・全
水道事業会計	18億7,348万549円	可決・認定・全
公共下水道事業会計	30億1,839万6,387円	可決・認定・全
農業集落排水事業特別会計	3,454万3,100円	認定・全

令和８年度　一般会計・特別会計　補正予算				
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計（第4号）	1億3,609万3千円（増額）	324億7,224万6千円	総務費等の増額	可決・全
国民健康保険特別会計（第1号）	3,223万3千円	56億9,817万3千円	総務費等の増額	可決・全

賛否の公表

賛成･反対の双方があった議案について表示します。（多＝賛成多数、少＝賛成少数　　○…賛成、●…反対、退…退席）

案件 ＼ 会派名・議員名		賛成の数	新政会								ネットワーク			公明	共産	究理		未来
			上田 忠博	三木 敏嗣	中野 光一	里内 英幸	梶原 美保	西田 聡	寺田 靖広	奥村 明	田村 隆光	上石田昌子	谷口 律香	塩見 隆	青木 千尋	武村 賞	櫻井 浩司	島田 利恵
令和7年度 一般会計・特別会計	一般会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	国民健康保険特別会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
	介護保険特別会計	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
意見書	非核三原則の堅持を求める意見書	多	退	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書	多	退	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（川嶋　恵）は採決に加わらない
※会派名の正式名称は次の通り ネットワーク（栗東市民ネットワーク）、公明（公明栗東）、共産（日本共産党栗東市議団）、究理（究理の会）、未来（未来創造りっとう）

9月議会では、意見書3件を可決し、政府関係機関に提出しました。

「非核三原則の堅持を求める意見書」

〈意見書概要〉　国会及び政府におかれては、非核三原則が我が国の平和国家としての歩みと国際的信頼を支えてきたことを改めて確認し、安全保障関連三文書の改定に当たっても、非核三原則を将来にわたり堅持することを明確に示されるよう強く要請します。

「核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書」

〈意見書概要〉　国会及び政府におかれては、唯一の戦争被爆国としての責務を果たし、核兵器廃絶に向けた国際的議論に積極的に関与するため、核兵器禁止条約第1回再検討会議にオブザーバーとして参加するよう強く要望します。

「公的年金額の改定に伴う課税化と社会保障負担の急増の解消を求める意見書」

〈意見書概要〉　国におかれては、低所得の年金受給者の安心と安定した生活を守るとともに、税制及び社会保障制度の安定的な運営を確保するため、公的年金等控除の引き上げ及び住民税の非課税限度額等の見直し、急激な負担増を防ぐ経過措置の導入、次期制度改正・予算編成における早期対応、地方財政等への必要な財源措置について必要な措置を講じるよう強く要望します。

9月定例会の概要

8/31
本会議【開会】
市から議案について説明。

→

9/9・10
本会議【個人質問】
13人の議員が市政全般について質問。
P9～

→

9/14・15
常任委員会
4常任委員会でそれぞれ付託された議案を審査。委員会としての賛否を決定。
P6～

→

9/17・18・24・28・29
決算特別委員会
決算の審査。
委員会としての賛否を決定。
P8

→

10/5
本会議【閉会】
4常任委員長による審査経過・結果報告および委員長報告への質疑。議案討論・採決。

常任委員会ピックアップ

～9月定例会での審査内容の一部概要をお伝えします～

※委員長報告を映像で
ご覧いただくことができます。

予算常任委員会

所属委員　（◎委員長　○副委員長）　◎上石田 昌子、○西田 聡　　議長（川嶋 恵）を除く全員

「令和8年度栗東市一般会計補正予算（第4号）」の審議より

◆職員採用時などに性犯罪前科を確認（職員人事給与管理事業）

問 整備するシステムはどのようなものか。また、運用はいつからか。

答 こども家庭庁を通じて法務省に照会し、職員や採用内定者の性犯罪前科の有無を確認するもの。令和8年12月25日の法律施行に合わせて運用する。

問 会計年度任用職員も対象となるのか。

答 対象となる。新規採用予定者や新たに対象業務に従事する職員は従事前に、現職員は3年以内に照会する。

◆強風・台風による倒木を受け、都市公園内の危険性の高い樹木44本を優先して対応（公園維持管理事業）

問 職員による緊急点検を実施し、剪定・伐採を委託したとのことだが、対象となる樹木は何本か。

答 市が管理する都市公園13か所を点検した結果、今後何らかの対応が必要となる96本のうち今回は危険性が高い樹木44本を優先的に剪定・伐採し、残りについては来年度以降に対応予定である。自治会管理の公園樹木も遊具点検とあわせて確認し、危険度の高いものから対応する。

◆迅速な修繕対応を（学習支援センター管理運営経費をはじめとする施設の修繕）

意 空調やトイレなど、緊急性を要する修繕については、補正予算を待つことで業務や職場環境に影響が生じないよう、部長級が適時適切に判断し、早期対応すべきではないか。



総務常任委員会

所属委員　（◎委員長　○副委員長）　◎三木 敏嗣、○上石田 昌子、西田 聡、島田 利恵、奥村 明

市保育園・こども園自園給食、葉山小学校改良工事の契約締結

◆自園給食調理等委託業務

問 現在と同じ事業者であるが、これまで以上に良くなる点は。

答 事業者からは食育に重点を置く提案がされており、食育ツール紹介、パネル展示、食育だより発行に加え、児童向け食育講座の実施を予定している。

問 前回は5年契約だが、今回は3年契約とした理由は。

答 物価高騰の影響が不透明であるため、リスクヘッジとして3年契約とした。

問 年間単価が約2800万円増加しているが、物価高騰等を考慮した積算か。

答 5年前からの物価上昇率等を反映し単価を算出した。

◆葉山小学校改良工事

問 一般競争入札であるにもかかわらず、1者のみの入札となった理由は。

答 競争入札は5者以上の参加が基本となるため、参加要件の「建築一式工事Aランク」に、「市内事業所で3年以上登録し総合評定値1000点以上」を追加した。しかし結果として、1者のみの応札となり、審査の上で契約相手方を決定した。

問 契約相手方の決定にあたり、決め手となるものはあったのか。

答 工事を確実に履行できる能力を重視し、地域経済への波及も踏まえ、市内本店または市内支店を有する事業者を念頭に条件設定した。



葉山小学校▶

「常任委員会」とは

市政は範囲が広く内容も複雑なため、市議会では、委員会を設けて本議会の予備的な審査や重要な事柄の調査をしています。現在、4つの委員会に分かれ、議案などを審査しています。

環境建設常任委員会

所属委員　（◎委員長　○副委員長）　◎武村 賞、○寺田 靖広、田村 隆光、里内 英幸、梶原 美保

栗東市営住宅管理条例の一部改正

◆子育て世代が安心して子育てに取り組める環境づくり

問 同居しようとする18歳以下の子がある者と記載されているが、確認方法は。

答 住民票等で確認する。

問 市営住宅の空き戸数は。また、何人くらいの入居を見込んでいるのか。

答 市営住宅の空き戸数は、政策空家の上砥山団地、出庭団地を除き、70戸である。まずは、安養寺団地1戸を募集し、その後、応募状況や子育て世帯のニーズを見極め、募集の拡大を検討する。

◆健康運動公園内にある経堂ケ池の購入

問 経堂ケ池の利用は、全部または、一部を利用するのか。

答 経堂ケ池の一部を埋め立てて、芝生広場として活用することを想定しているが、全てを芝生広場とする意見もある。今後、活用方法を検討する。

◆市道路線の認定

問 小柿一区内21号線は、前方に狭い道路がある。その道路に接続出来るのか。

答 高低差があるので、接続出来ない。



文教福祉常任委員会

所属委員　（◎委員長　○副委員長）　◎谷口 律香、○塩見 隆、上田 忠博、櫻井 浩司、中野 光一、青木 千尋

子どもの安全確保と保育・学童環境の充実へ

◆小規模保育の受入れ拡大

問 市内の小規模保育施設で、0歳から5歳までを同一施設で保育する状況は考えられるのか。

答 設備等の基準がある中で、そのような状況は生まれにくいと考えている。

小規模保育施設で、満3歳以上の限定保育事業も実施できるよう条例を改正した。

◆子どもの性暴力防止対策

国の「こども性暴力防止法」の施行を踏まえ、職員の性犯罪歴の確認など、子どもの安全確保に必要な措置を講じる条例を改正した。

問 現職者の性犯罪歴の確認は、いつから行うのか。

答 令和9年度から3年かけて順次行っていく。

問 初犯や不審な兆候を見逃さないため、どのように対応するのか。

答 各事業所で不適切保育や性暴力防止に関する研修、情報共有を行い、抑止に努める。



◆弓道場の廃止

屋外体育施設である弓道場を廃止する条例を改正した。

問 廃止後、市民が守山市の弓道場を利用する際、減免は適用されるのか。

答 近隣4市の取り決めにより、守山市民と同じ条件で利用できる。

◆学童保育の運営者を指定

令和9～14年度の学童保育の指定管理者を栗東市社会福祉協議会に指定した。

問 今後5年間で人件費や備品購入費などの変動が考えられる。費用負担について、どのような協議をしているのか。

答 物価上昇を加味した提案を受け、予算に見込んでいる。

「決算特別委員会」とは

特定の案件を審査する必要がある場合などに、議会の議決により設置される委員会です。
現在の特別委員会は「決算」（10月5日まで）、「議会広報編集」「議会改革」「環境センター整備」があります。

決算特別委員会

所属委員　（◎委員長　○副委員長）　◎青木 千尋、○櫻井 浩司
※議長（川嶋 恵）、監査委員（里内 英幸）を除く全員

令和7年度　市の予算はどのように使われたのか

◆令和7年度の予算が、何に、どのように使われたのかを、慎重に審査しました。

問 **協働事業提案制度実施団体が増えない原因をどう考えているか。**

答 市民の意見として、「プレゼンや報告会が手間に感じる。」、「申請のタイミングが合わない。」といったことを聞いている。そのため、少しずつ制度を変えて、申請を増やす取り組みを行っている。

問 **特定財源である森林環境譲与税の使い道が、今まで行ってきた市の事業の財源組み換えとして補填しているように見受けられる。林業振興の新たな取り組みに対して、財源を使用するべきだと考えるがいかがか。**

答 森林の境界が不確定な箇所が多く存在している状況を踏まえ、境界の確定をはじめ適切な森林施業の基盤づくりを進めているところである。今後も森林環境譲与税の趣旨に沿って、より効果的な活用を図っていく。

問 **今年8月に起きた千葉県の豪雨災害をはじめ、全国各地で短時間に集中豪雨が発生しているが、県による3河川の浚渫状況は。**

答 3河川の浚渫については、3河川の各促進協議会及び市から県に要望しており、県からは、状況を見ながら、必要に応じて実施するとの回答を受けている。引き続き、県に対して要望していく。

問 **民生委員児童委員が去年より少ないことについて、原因と今後についてどのように考えているのか。**

答 昨年度の一斉改選で、十数人欠員が増加した。その後少しずつ自治会長から推薦もいただいているが、原因を探るために今年度、民生委員にアンケートを実施した。その内容から、処遇改善や民生委員を手伝う民生委員協力員制度の創設について、現在、本市民生委員児童委員協議会連合会で検討していただいている。

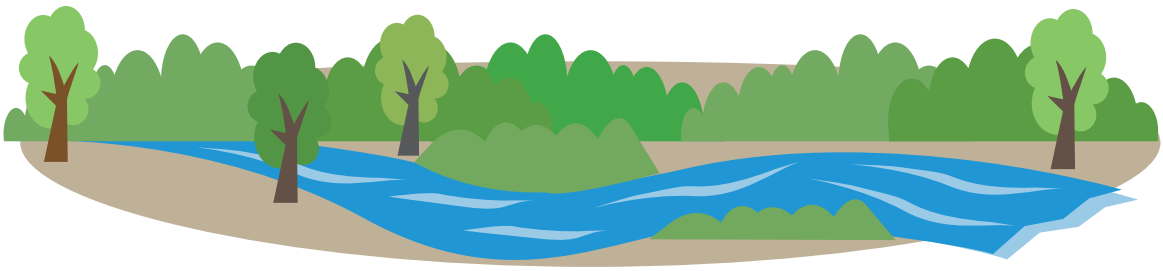
意 **なり手が減っていくことは仕方がないかもしれないが、未選任地域が少なくなるよう、民生委員協力員制度の効果が出るよう取り組んでいただきたい。**

問 **栗東市介護保険特別会計において、前年度からの繰越金が2億9000万円余りあり、当年度の歳入・歳出差し引きの結果、次年度への繰越金が1億9000万円余りとなっているため、実質的にこの1年間だけを見ると、約1億円のマイナスとなっているが、どのように考えているか。**

答 介護保険計画において、3年間の予算を見積もっている。令和7年度は介護給付費の支出が7％増加したこと等により、繰越額が前年より少なくなったが、健全な運営ができていると考えている。

問 **栗東市公共下水道事業決算報告書の収益的支出について、不用額が前年度より約2.4倍に増加しているが、その理由は。**

答 主な要因は、流域下水道維持管理負担金において、不明水の処理費が大幅に減少したこと、マンホールの段差補修等についても、想定していた件数を下回ったことによるものである。



個人質問　ここが聴きたい 市政を問う

～9月定例会での個人質問と答弁の要旨をお伝えします～

問…議員の質問
答…市からの回答
意…議員の意見

ページ	質問者	質問事項
9	上石田 昌子	物価高騰時代における公共調達の適正な予定価格の考え方について ―価格転嫁が当たり前に行われる公共調達を目指して―
10	谷口 律香	制服・学用品のリユースと学校備品化による保護者負担軽減について
10	寺田 靖広	水道事業について
10	青木 千尋	最高裁判決を踏まえた生活保護の追加給付は対象者全員に
11	田村 隆光	外部委託の見える化と、広域連携・生成AIを活用した行財政改革について
11	三木 敏嗣	1　中山間地域等直接支払交付金事業・多面的機能支払交付金事業について 2　有害鳥獣防除害対策(ニホンジカ・中小型獣による獣害)について
11	櫻井 浩司	栗東健康運動公園の進捗について
12	塩見 隆	1　帯状疱疹ワクチンの50歳以上65歳未満を対象とした任意接種費用助成制度の創設について 2　児童生徒の朝食摂取と基本的生活習慣の確立について
12	武村 賞	1　栗東市地域公共交通再編について 2　ニホンジカ等による農作物被害防止対策について 3　自転車の防犯登録について
12	島田 利恵	1　商工業支援における多様な担い手の育成と、事業目的に応じた委託・連携のあり方について 2　滋賀デスティネーションキャンペーン（DC）を契機とした持続可能な観光まちづくりについて
13	奥村 明	「オーガニックビレッジ宣言」について
13	西田 聡	歴史とロマン香る栗東歴史民俗博物館
13	梶原 美保	1　職員が健康で働き続けられる職場づくりを 2　金勝山周辺4施設の整備・利活用の進捗は

個人質問とは?

皆さんの生活に関わる大切な事柄について、議員が提言も含めて市に考えを聞きます。
議長・副議長・監査委員は原則個人質問を行いません。

議会動画　配信中!

各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込んで、その議員の個人質問の全体映像をYouTube でご覧いただけます。



栗東市議会
YouTube

分野別アイコン　各記事に記載

気になる分野をチェック!

くらし	
子育て・教育	
健康・福祉	
安全・安心	
まちづくり	
その他	



物価高騰時代の公共調達

上石田 昌子 議員

問　予定価格決定後、価格変動があった場合、予定価格を見直すべきではないか。

答　入札まで2週間と短期間のため見直さない。著しい変動は、約款に基づき協議して対応する。

問　価格高騰や資材調達等の相談・情報を、契約変更前から記録・共有し、実態を把握する仕組みが必要ではないか。

答　県や近隣市の事例を踏まえ、簡素で有効な仕組みを検討する。相談・情報の記録共有も検討する。

問　若手職員の育成と経験豊富な職員の知識・技術を組み合わせ、現場の声を早期に組織へつなげるべきではないか。

答　現場の声を共有し早期対応する仕組みは、職員の成長や組織力向上、適正な価格転嫁への迅速な対応にも極めて有効である。知識・技術の継承に取り組む。

問　相談を待つだけでなく、事業者が安心して価格転嫁できる公共調達へ転換すべきではないか。

答　事業者からの意見聴取や庁内の情報共有を検討し、相談待ちから脱却した仕組みづくりに取り組む。





制服・学用品のリユースで保護者負担軽減を

谷口 律香 議員

問 文部科学省は物価高を踏まえ、補助教材や学用品の学校備品化など、保護者負担の軽減策を積極的に検討するよう求めている。本市では今後どう取り組むのか。

答 必要な教材等の最適化を進め、個人持ちの教材・教具について、PTAと協働しながら各校に見直しを求めていく。

問 制服や学用品のリユースを継続するには、学校やPTA、ボランティア団体に負担を偏らせない仕組みが必要。教育だけでなく、子育て、福祉、環境など市全体の課題として、関係部局や関係機関をつなぎ、持続可能な取り組みのあり方を横断的に検討すべき。見解は。

答 各組織が抱える課題と強みを勘案しながら、効果的な連携の姿を模索していく。

問 リユースや備品化の取り組みを通じ、物を大切にする心を育む教育的意義を、どのように実現していくのか。教育長の考えを伺う。

答 環境教育や体験活動と連携して進める。また、コミュニティスクールや地域学校協働活動のテーマとして取り上げるなど、学校、保護者、地域の連携と役割分担が円滑に進むよう働きかける。





未来を見据えた水道事業

寺田 靖広 議員

問 建設資材・人件費高騰や金利上昇を勘案すると基幹管路の耐震化を前倒しすることが有効と考える。また、大規模地震に備えることにもなり、市民の安心につながると考える。前倒しの検討はできないか。

答 計画的に更新・耐震化を進めていく。

問 水道料金の改定をすることなく、今後も目標数値を上回るペースで工事を継続することは可能か。

答 前回改定では激変緩和のため、赤字を回避できる程度の段階的な値上げにとどめたことや、今後の物価上昇等に加え、令和9年度より滋賀県企業庁から購入する水道水の値上げもあり、水道料金改定をすることなく、耐震化及び老朽化対策工事の目標数値を達成し続けることは困難である。

問 令和7年度の純利益約1億円を原資に、更新率の引き上げと耐震化(基幹管路7.8%→35%超)をこの計画期間内に確実に実行することが、将来の料金急騰と断水リスクの両方を防ぐ最善策。このことに関して、如何に考えるか。

答 水道料金水準の検討において、将来の施設更新等に必要な資本費用を含めた料金水準へ改定し、計画的な施設更新及び耐震化を進めたい。



▲第2高区受水池



生活保護の「追加給付」は最高裁判決を踏まえて対象者全員に

青木 千尋 議員

問 国が生活保護の基準額を2013(平成25)年から2018(平成30)年の間、最大で10%下げたのは憲法25条に違反すると「いのちのとりで裁判」として取り組まれ2025(令和7)年6月27日、最高裁判所が「減額は違法」と判決を下され、国は追加給付を行うことになった。この事について、市の対応を問う。

答 給付は対象者全員と考えるが市の考えは。

平成25年8月以降の期間に保護を受けていたすべての世帯が対象である。

問 追加給付があるということを対象の方はどのように知るのか。

答 他自治体に転居された方で保護が廃止となった方は国が新聞、インターネット、ポスター、病院等の施設で周知を行う。

問 栗東市から転居された方の対応は。

答 転居された方は本人の申し出が基本となるが、可能な範囲で調査を行い個別に案内を行う事でできるだけ多くの方に周知と申請を促す。

問 栗東市から転居している方は「申し出」が必要。書類の記入など担当課で援助はあるのか。

答 国のコールセンターでの案内や、市社会福祉課の窓口での記入支援を行っている。





外部委託の適正化で公費の見える化を

田村 隆光 議員

問 令和7年度決算ベースで、外部委託費が年間予算の15・52％、約49億円使われている。外部委託の合理性などの検証は行なっているのか。また、その過程を公文書等で残しているのか。

答 外部委託を検討する際、業務内容、専門性、予算、納期などを総合的に判断し、最適な実施方法を選択している。仕様書や積算根拠資料、起案文書及び見積書などは各事業所管課で保管している。

問 外部委託等の監視強化について専門家による厳格なチェック体制の構築や外部委託の適正化を図るために民間委託ガイドラインの策定や委託先の見える化、ゼロベース見直し、外部委託チェックシートの導入など先進事例を参考に実施すべきと考えるが見解は。

答 第9次行政改革大綱の進行管理は、行政改革懇談会を設置し、大学教授、公認会計士など5人の外部委員を委嘱し必要な事項を点検・評価をいただいている。ガイドラインの策定などについては、次年度以降の行政改革大綱実行計画に位置づけ、その進行管理について行政改革懇談会において点検・評価をいただく。





中山間地域等直接支払交付金・多面的機能支払とニホンジカ・中小型獣による獣害

三木 敏嗣 議員

問 傾斜によらない不利性を追加し、対象農地拡大の考えは。

答 緩傾斜農地を拡大検討する。

問 協定作成・実績報告作成など、事務負担軽減の考えは。

答 国・県へ報告書の簡素化など引き続き事務負担の軽減を要望していく。

問 ※①中山間地域等直接支払・※②多面的機能支払と両事業を活用している地域は。

答 4地区である。

意 両事業を積極的に周知し活用を促すことで、地域の取り組み意欲を高める事が重要である。

問 ニホンジカの出没件数と農作物被害件数、※③中小型獣の出没件数、農作物被害状況は。

答 令和7年度の獣害状況は、中村地区でイノシシによる水稲被害1件、美之郷地区でシカによる水稲被害1件・野菜被害1件、アライグマによる果樹被害1件、下戸山地区でシカによる水稲被害1件が発生し、被害額は推計70万6千円となっている。

問 防護柵の修繕等の一体的実施を促進するため、補助率上乗せ等を検討しているか。

答 一体的実施を選択いただく機会を設けるため、必要な情報提供に努めていく。



※①傾斜地農業の維持や農地・水路の保全を支援する国の交付金制度
※②地域ぐるみで農地保全に取り組む活動に対し、国が支援を行う制度
※③アライグマ・ハクビシン・アナグマ・タヌキ・キツネ等



栗東健康運動公園の進捗

櫻井 浩司 議員

問 今回、8941万2840円で経堂ケ池を買収することになったが、価格の算定根拠は。

答 客観的かつ適正な価格を把握するため、不動産鑑定評価を行い、その評価額をもとに算定した。

問 買収が成立した後は、この池をどのように活かすのか。

答 現在、造成に係る詳細設計を進めており、経堂ケ池の一部を埋め立て芝生広場を拡充する方向で検討してきたが、今後の公園における水面の利活用方法については、施設の安全性や維持管理の在り方などを踏まえ、引き続き池の活用の可否も含めて検討していく。

問 池の一部を残すとなると周辺で遊びたい子どもたちも出てくると思うが、その際の事故等のリスクは。

答 池を公園の一部として整備する以上、安全確保は重要な課題であると認識している。今後、池への立ち入り禁止や転落防止、注意喚起などの安全対策、日常的な維持管理等について具体的に確認し、必要な対策を講じたうえで、公園としての利用の在り方を検討していく。

問 現在も旧RD最終処分場問題における、滋賀県による水質検査や、モニタリングが行われているが、市の所有となった場合の今後は。

答 これまでも県が実施する調査には協力してきた。今後も県による調査が必要とされる場合は、引き続き協力していく。





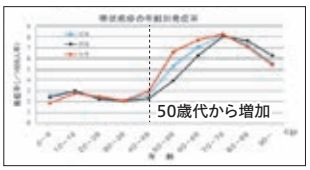
65歳未満を対象とした帯状疱疹ワクチン接種費用助成制度の創設

塩見 隆 議員

問 帯状疱疹の発症率は50歳代から上昇し、年齢とともに高くなる。定期接種の対象となる65歳まで15年空白期間となる。この期間の生活の質を落とさないためにもワクチン接種を選択できる環境を整えることが重要と考えるが市の見解は。

答 この年代からの接種勧奨を念頭に費用助成を行うことは疾病予防の有効な手法の一つと考える。可能な限り早期に結論を得られるよう、今年度内から確認作業や調査などに取り組んでいく。

意 50歳～65歳未満の任意接種制度創設に向けての取り組みを前に進めて頂くことを切にお願いする。



児童生徒の朝食摂取と基本的生活習慣の確立

問 市内小中学生の朝食摂取状況についての傾向、毎日朝食を食べていない児童生徒がいる現状を、どのように分析しているか。

答 過去のアンケートから学年が上がるごとに摂取率が下がる傾向がみられる。生活リズムの乱れや睡眠不足との関係が強いと推定している。

問 摂取率向上に具体的にどのように進めて行く考えか。

答 12月に開催する「栗東市PTA連絡協議会と教育委員会の懇談会」において課題解決に向けた意見交換を実施して各校の取り組みへとつなげたいと考える。



くりちゃんバスの利便性を更に高く

武村 賞 議員

清水ヶ丘自治会へ「くりちゃんバス」の乗り入れを

問 宅屋線のバス停は、清水ヶ丘自治会から遠く、高齢者などの交通弱者には交通手段が限られ不便である。自治会内への乗り入れが必要であると考えるが見解は。

答 自治会内へのルート延伸は、道路が狭く、バスの乗り入れが困難である。

問 車幅が2.1mであれば、乗り入れは可能であると考えるが見解は。

答 自治会内に転回場所を確保することが困難であり、ルート延伸は、現状では難しい。

問 転回場所の確保や8号バイパスの側道利用も含め検討されたい。

答 8号バイパスの側道の開通など社会情勢の変化に注視し、適宜、延伸についても研究していく。



獣害防止柵の原材料支給を求める

問 平成23年度からの獣害被害防止柵は、16年以上経過し、耐用年数が経過し、劣化している。当時の国費の交付率は、2分の1もしくは、定額だが、今は。

答 現在も国費の交付率は、2分の1以内もしくは定額の補助です。

問 当時の総延長は約23キロで総事業費8千万円である。50％補助だと地元負担は4千万円となる。稲作収益が10aあたりの数万円の農業では再整備する財源がない。原材料費が100％補助なら、集落普請で対応するので、対策を検討されたいが見解は。

答 引き続き国・県に手厚い支援を要請していく。



滋賀デスティネーションキャンペーン(DC)を契機に、市民・事業者が担う持続可能な観光へ

島田 利恵 議員

問 市内事業者や市民団体が参加できる窓口と仕組みを問う。

答 商工会や観光協会を窓口に、説明会等で参加と連携の機会を整える。事業者等を把握し、多様な主体が連携できる環境整備を推進する。

問 この機会を地域経済につなげる攻めの観光への市長の見解を伺う。

答 一過性で終わらせず、馬を活かして地域経済につなげる。

意 一部署の取り組みにせず、全庁で取り組み、栗東市の未来につなげてほしい。



▲栗東市の滋賀DCの詳細はこちらから



「食（オーガニック）」への意識改革で医療費削減へ

奥村 明 議員

問 健康増進課等は予防医療施策として関与し、教育長は食育の一環と捉え直し、農林課は伴走型支援への意識転換を求めたい。財務課等は外部財源を活用した柔軟な予算措置を講じ、協議会を立ち上げて実態調査や米・調味料のスポット導入から開始してはどうか。さらに、根菜類への拡大、農業委員会等と連携した有機団地の整備、馬糞等を活用した耕畜連携システムの構築を推進すべきだと考えるが見解は。

答 健康推進員と連携した情報発信や、協議会設置の検討、市内産オーガニック米や調味料の供給が整った際のスポット導入、条件が整えば年間計画購入や有機団地化に取り組んでいく。

問 市長はオーガニックビレッジ全国首長会のメンバーとして、全国の動向を見る中で、この1年間で捉え方にどのような変化があったか。また今後のビジョンは。

答 オーガニックについて多様な考えを持つ方がいることを踏まえ、オーガニックビレッジ宣言をすることの影響も含め情報収集を目的に、協議会的なものの立ち上げを検討したい。また、今後オーガニックビレッジ宣言をすることで、子どもたちをはじめ、安全で栄養価の高い食の提供に繋げたい。

意 市民の皆さまが「農と食」に関心を持つ事で、丈夫な体をつくり健康に過ごすことが医療費削減につながる。

▲オーガニックビレッジのページ：農林水産省



歴史とロマン香る栗東歴史民俗博物館

西田 聡 議員

問 今年度の運営方針と具体的活動は。

答 開館以来、「市民に活用される、開かれた博物館づくり」を基本方針に掲げ、「展覧会開催事業」や「市民参画推進事業」、「博学連携事業」に取り組んでいる。

問 来館者推移と年間の来訪者数は。また、市内・市外の来館者割合は。

答 令和3年度の4千286人から、令和4年度以降は毎年1万1～2千人で推移している。5年間の平均来館者数は、9千857人である。市内・市外の来館者割合の詳細な数値は把握していないが、おおむね半数ずつであると推計している。

問 施設に来ることのできない人に向けて情報を発信したり、新しい鑑賞方法などの取り組みは。

答 来館困難な人を含む多様な市民への情報提供として、解説・出前講座を展開している。オンライン・VR等の鑑賞方法を含め、将来的可能性を研究していく。

意 歴民博物館を「教育・文化施設」としてだけではなく、イベントを通じて、「栗東の魅力を市外へ発信するシティプロモーションの拠点」のひとつとして捉え、来館者増を図られたい。



▲栗東歴史民俗博物館と旧中島家住宅



職員が健康で働き続けられる職場づくりを

梶原 美保 議員

問 顕著な例として、令和5年は前年比3倍の普通退職者があった。人材不足の時代、自治体において職員は重要な人的資源であるが、職場環境の改善等を横断的に進める「職員ウェルビーイング」の考え方を伺う。

答 本市としては、持続可能な行政運営を支える基盤として捉え、人材育成・人材確保・働き方改革を一体的に進める中でその位置づけを検討する。

問 今後、本市が進めるとされる「予防型の働き方改革」について制度を整えるだけでなく、具体的な取り組みに繋げていく考えは。

答 重要な視点と認識しており、現状と課題を整理し、仕組化や意識改革など継続的な改善を行い、適正な人員配置や業務効率化などの具体的な取り組みに繋げていく。

問 金勝山周辺4施設の整備・利活用の進捗状況は

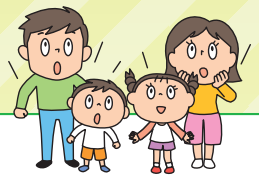
答 あり方検討報告書で、施設ごとに今後の方向性が示されているが、市が「廃止」とする施設について、「廃止」の意味を確認する。

答 公の施設として廃止することを含んでおり、基本的には民間活力による運用形態を考えている。



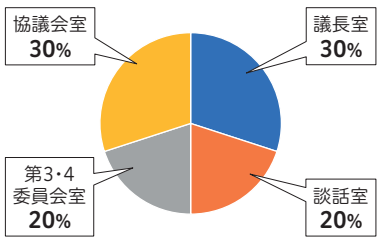
▲道の駅こんぜの里りっとう

親子議会見学ツアーアンケート

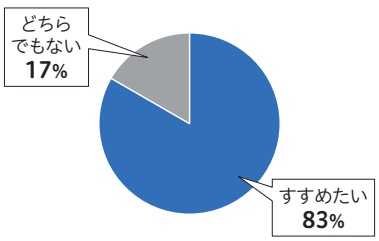


参加児童の声

楽しかった部屋はどこですか



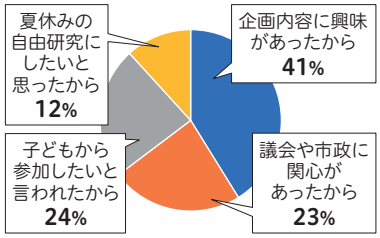
同級生にすすめたいですか



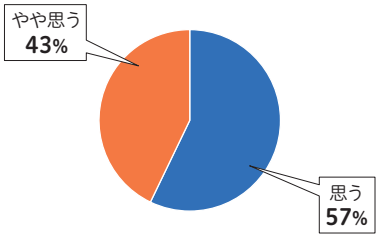
- いつもは見学できない議会を見学できてよかった。
- 議会についてよく分かりました。

保護者の声

申し込みをされた理由



人に進めたいと思いますか



- 普段、見ることが出来ない所も見学でき、良かったです。子供にもわかりやすい説明と実際に見てまわることができたので良かったです。
- 知らなかったことを教えてもらえて勉強になりました。

議会は傍聴ができます



定例会や委員会では、私たちの生活に関わる大切なことが審議されています。傍聴をご希望の方は、定例会などの会議開催日に市役所4階 議会事務局までお越しください。

❶市役所4階で受付を行う

名前・住所などを記入します



❷傍聴者入口から入る



❸傍聴席に座り傍聴する



傍聴にお越しください

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。
- 開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。
- 日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承ください。
- 議場には車椅子を利用されている方の傍聴者席を設置しています。
- 手話通訳者の配置をご希望の方は事前に議会事務局へ連絡をお願いします。

議会の様子は、開催後速やかにYouTubeにアップしており、動画でもご覧いただけます。▶

●問い合わせ　議会事務局（市役所4階）
TEL:551-0137　FAX:551-0146　:gikai@city.ritto.lg.jp

12月定例会の予定（土・日・祝は除く）

12月 4日	本会議（議案上程等）
12月14日・15日	本会議（代表質問）
12月15日～17日	本会議（個人質問）
12月18日、21日・22日	各常任委員会
12月25日	本会議（委員長報告・採決）

編集後記

秋も深まり、今年も残すところあとわずかとなりました。振り返れば、市政にも私たちの暮らしにもさまざまな動きがあった一年。議会で交わされた言葉のその先に、暮らしがどう変わっていくのか。これからもしっかり追いかけます。（谷口律香）

議会広報編集特別委員会
（委員長）寺田　靖広　（副委員長）奥村　明
（委員）田村　隆光 / 西田　聡 / 塩見　隆 / 谷口　律香

●表紙写真　親子で学びあった栗東市議会

ホームページで全ページがフルカラーの議会だより（PDF版）をお楽しみいただけます。



栗東市議会ホームページ▲

発行/栗東市議会　編集/議会広報編集特別委員会　〒520-3088　滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
TEL/077-551-0137　FAX/077-551-0146　メールアドレス/gikai@city.ritto.lg.jp

栗東市議会ホームページ▲